

「メセナアワード 2016」受賞活動決定 「手仕事のものづくり」支援にメセナ大賞 —50年超の活動が過半数、沖縄企業に文化庁長官賞—

本件は10月27日(木)14:00、文部科学記者会・関西プレスクラブにて資料を配布をしています

公益社団法人企業メセナ協議会（東京都港区芝 5-3-2、理事長：尾崎元規）は、「メセナアワード 2016」の受賞活動7件（「メセナ大賞」1件、「優秀賞」5件、「特別賞：文化庁長官賞」1件）を決定しました。

「メセナアワード」は、企業による芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰するものです。

大賞受賞の日本毛織は、手仕事による「工芸」という日本が世界に誇るものづくりを支援し、自然の恵みをいかした美しい生活文化を育んでいます。

今年は企業による顕彰活動を中心に、舞台裏のプロフェッショナルや若手アーティストへの支援・贈賞、子どもたちの創造力を育むコンクール、豊かな児童文化の醸成など、日本の多様な文化の担い手を励ましてきた企業メセナに賞が贈られることとなりました。また建築文化を発信する優れた企業広報誌など、50年以上継続してきた活動も4件を占めます。



●贈呈式 2016年11月24日(木)

スパイラルホール

[式典]14:00~15:30

[記念レセプション]15:45~17:00



■「メセナアワード 2016」選考結果

企業名五十音順
() 内は活動実施場所

大賞	メセナ大賞	日本毛織株式会社 工房からの風	(千葉県)
優秀賞	縁の下発掘賞	株式会社 CBC テレビ CBC クラブ文化賞 (くちなし章)	(愛知県)
	若手貝画賞	昭和シェル石油株式会社 シェル美術賞	(東京都)
	建築文化接近賞	株式会社竹中工務店 季刊誌 [approach] の発行	
	東京なかつまち芸賞	東京ミッドタウンマネジメント株式会社 Tokyo Midtown Award 2015	(東京都)
	子どもに夢を半世紀賞	東燃ゼネラルグループ 東燃ゼネラル児童文化賞	(東京都)
特別賞	文化庁長官賞	日本トランスオーシャン航空株式会社 JTA・RAC あおぞら図画コンクール	(沖縄県)

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

大 賞:メセナ大賞

日本毛織株式会社

工房からの風

千葉県市川市、本八幡駅から線路沿いに 10 分ほど歩くと、ショッピングセンター「ニッケコルトンプラザ」が見えてくる。運営する日本毛織株式会社は、1896 年より毛織物を手がける中、繊維にとどまらず多角的に事業を拡大し、1988 年、工場跡地に同施設をオープンした。約 50,000 坪の敷地には「ニッケ鎮守の杜」と呼ばれる一角があり、工場時代から残されるお社を中心に豊かな自然がひろがる。野外クラフト展「工房からの風」は、この地をステージに、2001 年に始まった。

毎年、10 月に行われる同展に出品したい工芸作家を公募する。対象は、陶磁器・木工・金工・染織など自然の恵みを素材に手仕事で作品を制作する、プロまたは明確にプロを目指す新人作家。「ニッケ鎮守の杜」内の「gallery らふと」スタッフは約 50 名を選び、春から伴走者となって展示の準備を進める。この間、値付けから展示方法など作家として必要なスキルを伝授するほか、作家同士の交流を図り、切磋琢磨によるクリエイションの向上にも寄与する。

イベント 2 日間で来場する約 20,000 名のうち、7 割が地元の住人でファンも多い。「使う」工芸の作家にとって、使い手との交流は制作のインスピレーションを得る大切な機会だ。またギャラリストやバイヤーからの声掛けで、この日にデビューのきっかけをつかむ作家も少なくない。本番までの半年にわたる準備期間は、作家にとってより確かな成長への足がかりとなるのだ。

作り手と使い手をつなぎ、豊かな暮らしづくりを提案する。工芸によるアクションは、生活の中にやわらかな風を吹き込んでいる。

●評価ポイント

日常に結びついた工芸に着目し、豊かな生活文化の醸成に寄与している。

新人作家の登竜門として機能するだけでなく、充実した支援により育成にも貢献している。



展示風景。野外展ならではの自然光のもと、作家と企画者で作り上げる展示構成



会場には、陶磁・硝子・木・金属・染織・革・紙…様々な若手工芸作家が集う

●企業プロフィール [2016 年 5 月現在]

本社所在地：大阪府大阪市（本店所在地：兵庫県神戸市）

設立年：1896 年

資本金：64 億 6,500 万円

従業員数：503 名（単独）、4,649 名（連結）

主な事業：衣料繊維事業、産業機材事業、人とみらい開発事業、生活流通事業

URL：<http://www.nikke.co.jp>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

優秀賞：縁の下発掘賞

株式会社 CBC テレビ

CBC クラブ文化賞（くちなし章）

日本で最初の民間放送局である中部日本放送、略称 CBC は、1950 年に名古屋市で創立した。「文化の発展と向上に寄与することが放送の使命である」との基本姿勢に則り、草分け的存在として事業を展開、その一つに「CBC クラブ」がある。東海 3 県で活躍する文化人による組織で、1957 年に会員 145 名で発足した。同社が事務局となり、会員相互の親睦や地域文化の向上・発展を目的とした活動をバックアップする。会員の出品による「チャリティ美術工芸展」や「こども絵画展」の開催、ラジオ「文化・楽楽」の制作や機関誌の発行など活動は多岐にわたり、1960 年には「CBC クラブ文化賞（くちなし章）」を創設した。

同賞は、東海地方で一芸一能に黙々と従事し、貴重な業績と成果をあげながら、人に知られず自らも何も言わない隠れた存在の方々を顕彰する。そんな“縁の下の力持ち”を植物のくちなしと重ねたことが、「くちなし章」と呼ばれる所以だ。

毎年、事務局から会員に向け推薦者を募集し、候補者の中からクラブの代表の委員が 1 名を選出する。受賞者にはくちなしを図案化した七宝焼きの徽章と賞金を贈るほか、CBC クラブの名誉会員として登録する。近年は、「源氏物語絵巻」などの復元模写に携わった古典模写制作者や、舞台・美術作品の魅力を写真で伝えてきたカメラマンにこの賞が贈られており、その数は 94 名にのぼる。

東海地方の“くちなし”を探し続ける同社とクラブの二人三脚は 60 年に差しかかろうとしている。地道な活動は、芸術・文化を支える技術と才能を、これからも未来へとつないでいこう。

●評価ポイント

独自性のある取り組みで、芸術・文化を下支えする多様な人材を顕在化している。

継続的な支援により、東海地方における文化の継承に貢献している。



くちなし章。七宝・紅綬の「章」。



笑顔の受賞者（カメラマン・中川幸作氏）

●企業プロフィール [2016 年 9 月現在]

本社所在地：愛知県名古屋市

設立年：1950 年

資本金：1 億円

従業員数：245 名

主な事業：民間放送局

URL: <https://hicbc.com>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

優秀賞:若手貝画賞

昭和シェル石油株式会社

シェル美術賞

「シェル美術賞」は1956年に創設された、40歳以下の若手作家による平面作品の公募展。美術団体展以外の独立した美術賞がなく、才能ある新人が世に出ることが難しかった時代に、「既存の権威にとらわれず、新人を発掘して自由に賞を与えたい」との思いから始まった。過去の受賞者には赤瀬川原平、高松次郎、菅木志雄といった現代美術の先駆者らが名を連ね、近年は曾谷朝絵なども受賞。今では若手作家の登竜門として広く認知されている。

一次審査から徹底した現物審査を貫き、3名の審査員により、毎年1,000点近くの応募作品からグランプリ1点、審査員賞3点、審査員奨励賞3点、入選約45点が選ばれる。表彰式とあわせて実施する講評会では、受賞・入選作品一つひとつについて作家と直接対話しながら、審査員が講評を行う。

およそ6,000名が鑑賞する展覧会会場では、来場者投票で選ばれる「オーディエンス賞」を設けるほか、受賞者と審査員によるアーティストトークを開催。さらに当年受賞作品に加え、2012年からは過去の受賞・入選作家4名の近作と新作を展示する「シェル美術賞 アーティスト セレクション (SAS)」を開催しており、賞の厚みを感じさせる。また継続的な支援を重視し、同賞の公式サイトに歴代受賞者の作品やインタビュー、展覧会情報などを積極的に発信し、作家がより多くの人との接点を持てるよう努めている。

創設時より一貫して作家に寄り添い、同時代の若手作家の表現に目を向け、その動向を捉えながら少しずつ形を変えて発展してきた。60年の歴史が賞の価値を高め、新しい絵画の可能性を開いていく。

●評価ポイント

長年にわたり美術界に求められる仕組みを創出し、幾多の才能を見出している。

若手作家の活躍を継続的に支援することで、次世代育成に寄与している。



2015年準グランプリ受賞者
(国立新美術館展覧会会場にて)



講評会では、作品について作家と直接対話しながら
審査員が講評する

●企業プロフィール [2016年4月現在]

本社所在地：東京都港区

設立年：1985年

資本金：341億9,700万円

従業員数：808名

主な事業：石油事業、エネルギーソリューション事業

URL：<http://www.showa-shell.co.jp/>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

優秀賞：建築文化接近賞

株式会社竹中工務店

季刊誌[approach]の発行

1960年代、世間で企業PR誌が発刊される中、建築文化を発信する媒体をつくろうと、竹中工務店は季刊誌『approach』を創刊した。64年のことだ。建築、都市そして社会へのアプローチ、さらには社会からのアプローチとの相互交流を願い、名づけられた。

第一号の特集は「現代建築のなかの美術」。アートディレクションは独立後間もない若きデザイナーの田中一光氏が担い、2002年まで関係は続く。表紙は、発刊の発案者でもある当時の社長・竹中錬一氏の絵画コレクションから一枚で、以来、アート作品を採用し「本物を伝える」表紙にはこだわりを持つ。

52年を経た現在も、一貫して建築を取り巻く幅広い事象をテーマに設定する。2015年度の特集は、「勝見 勝——デザインの時代を拓く」、「奥出雲に刻まれた風景——たたら製鉄」、「自転車先進都市——コペンハーゲン」「葵・フーバー——創作の世界」。継続して年4回、11,000部を発行し配布するほか、13年からはウェブでも全紙面を展開する。

同社は、初代が織田家の普請奉行を務めたことに端を発し、1899年の神戸進出10年目にあたる1909年には設計施工が一体である棟梁精神を表す「工務店」という名称を創り社名とした。400年を越えて脈々と受け継がれてきた「匠の心」は、同誌の「建築は人々の暮らしや歴史・文化・芸術などを切り離しては成り立たない」という編集精神となっていく。

「想いをかたちに、未来へつなぐ」。一途な視線を普遍的なテーマで掘り下げ、同時代における建築文化を社会へ問い続けているのだ。

●評価ポイント

社業の中で蓄積してきた知見をもとに、建築文化を多彩なコンテンツで展開している。長年にわたり一貫した編集方針で、質の高い媒体を制作し続けている。



1964年の創刊から52年続く季刊誌 [approach]



2015年秋号

奥出雲のたたらが刻んだ重要文化的景観の棚田

●企業プロフィール [2016年1月現在]

本社所在地：大阪府大阪市

設立年：1937年

資本金：500億円

従業員数：7,473名

主な事業：建設工事および土木工事に関する請負、設計および監理ほか

URL：<http://www.takenaka.co.jp>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

優秀賞：東京なかつまち技芸賞

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

Tokyo Midtown Award 2015

喧噪の六本木エリアにありながら、広大な緑地と多様な都市機能が融合する「東京ミッドタウン」。2007年のオープン以来、「JAPAN VALUE」＝“新しい日本の価値・感性・才能”を創造・集結し、世界に発信し続ける街をコンセプトに、東京ミッドタウンマネジメントが運営する。

同社が街づくりの一環で取り組むのが、08年に創設した「Tokyo Midtown Award」——デザインとアートのコンペティションだ。街をステージに、次世代を担う才能を発掘・応援する目的で毎年開催、15年は総計1,566件のアイデアが寄せられた。

アートコンペでは、場所をいかした作品を募集する。グランプリ受賞者をハワイ大学が実施するアートプログラムに招聘するほか、受賞6件へトロフィーと賞金、制作補助金100万円を贈呈。さらに、年間3千万人が行き交う館内パブリックスペースでの展覧会で、作品発表の機会も提供する。

デザインコンペの15年度の募集テーマは「おもてなし」。日本の美しい心づかいが感じられる8件が選ばれた。グランプリへの国際家具見本市「ミラノサローネ」招待に加え、受賞者へはトロフィーと賞金を贈呈、さらには作品の商品化までをサポートする。すでにヒット商品となっている「富士山グラス」や「歌舞伎フェイスパック」など、これまで12件の商品化を実現してきた。また「ミラノ・デザインウィーク」では、商品を含む歴代受賞作品の展覧会も手がけ、国際的な発信にも積極的だ。

明日の才能へのサポートは、多様な価値を生み出し街の息吹となる。そして、創造的な社会づくりへとつながるのだ。

●評価ポイント

創造的な街づくりの実践から、多彩な価値の発掘・育成に貢献している。

経営資源をいかして日本の新しい才能を見出し、その魅力を国内外で多面的に発信している。



アートコンペ

多くの人でにぎわうパブリックスペースで約1カ月展示



デザインコンペから生まれた人気商品

「歌舞伎フェイスパック」

●企業プロフィール [2016年4月現在]

本社所在地：東京都港区

設立年：2004年

資本金：1億円（三井不動産100%出資）

従業員数：129名

主な事業：「東京ミッドタウン」の管理運営業務

URL：<http://www.tokyo-midtown.com/jp/>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

優秀賞：子どもに夢を半世紀賞

東燃ゼネラルグループ

東燃ゼネラル児童文化賞

日本の児童文化の発展・向上に貢献した個人または団体に贈る「東燃ゼネラル児童文化賞」、創設のきっかけは旧モービル石油時代に遡る。創業 70 周年の記念行事として、同社シンボルマークの赤い馬をテーマに創作童話を一般公募、川端康成をはじめとする 6 名の審査員が選んだ作品は、童話集『赤馬物語』として全国の小学校へ寄贈され、大きな反響を呼んだ。これを機に、幅広く児童文化に目を向けようと、1966 年「モービル児童文化賞」が始まる。

毎年、児童文化の発展に寄与する各界の有識者やメディア関係者などから推薦される候補者から、3 名の選考委員により受賞者を決定。これまでの受賞者は児童文学者や絵本作家、教育者のほか、「まんが日本昔ばなし」などテレビ番組の制作チーム、萩本欽一、ダークダックス、野草園の園長まで多岐にわたる。受賞者にはトロフィーと副賞 200 万円が贈られる。記念公演も開催し、受賞関係者やグループ取引先、一般公募の総勢 800 名を招待している。

2015 年は同賞創設 50 年の節目にあたり、歴代受賞者の人形劇団プークと劇団風の子の協力を得て、東燃ゼネラルグループの操業拠点である川崎、堺、有田、市原の小学校や文化施設でアウトリーチ公演を実施。1,500 人もの子ども達が夢中になって鑑賞した。地域との絆を育んだ公演は好評を博し、16 年には清水で開催、今後も続けていく予定だ。

児童文化を育む功労者をたたえ励ましてきた本賞は、半世紀の歳月を経た。豊かな感性を求めて、これからも未来を生きる子ども達の笑顔と感動が広がる社会を築き上げていく。

●評価ポイント

50 年にわたる賞の継続を通じて、児童文化の幅広さと奥深さを世に紹介している。

顕彰制度から子どもに夢を与えるイベントへと、活動が発展している。



2015 年東燃ゼネラル児童文化賞 贈賞式

左が受賞者 五味太郎氏



第 11 回受賞 劇団風の子による 50 周年記念イベント

●企業プロフィール [2016 年 9 月現在] *東燃ゼネラル石油株式会社のデータ

本社所在地：東京都港区

設立年：1947 年*

資本金：351 億円*

従業員数：3,383 名（2015 年 12 月 31 日現在）

主な事業：石油・石油化学製品の輸送、製造・加工および販売

URL：<http://www.tonengeneral.co.jp/>

■「メセナアワード 2016」受賞活動の紹介

特別賞:文化庁長官賞

日本トランスオーシャン航空株式会社

JTA・RAC あおぞら図画コンクール

沖縄県内の島々を結ぶ懸け橋として1967年に誕生した日本トランスオーシャン航空。「うちな～の翼」である同社は81年、離島に住む小学生を対象に「あおぞら図画コンクール」を始める。沖縄本島に比べて絵画に触れる機会が少なく、子どもたちが日々の感動を表現して地元の良さを知るきっかけになればとの思いだ。また進学により島を後にした子どもたちが、いずれ誇りを持つ郷里に戻ることで、ひいては一大産業である観光業の担い手を増やして地域貢献にもつなげたい。30回目からは関連会社との共催へとひろがり、鹿児島県奄美大島・与論島の子どもたちにも門戸を開いている。

募集テーマは「わたしの大好きな島」。透き通る海で泳ぐ魚や自分の姿、三線の練習風景、アダンの群落とオカヤドカリ、一夜だけ咲くサガリバナなど——指定の四つ切り画用紙には、子どもたちが捉えた日常の風景が鮮やかに描かれる。2015年は130校へ呼びかけたところ、夏休み明けには409作品が寄せられた。

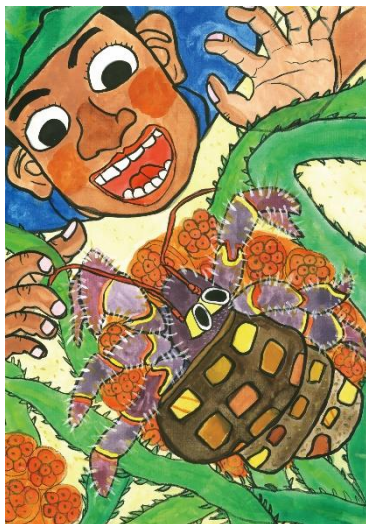
応募作品は全てウェブに掲載、各学年で選ばれた最優秀賞・優秀賞・佳作の計54作品は、空港など4カ所で巡回展示される。表彰式も5島で開催され、その様子を各地元紙が報じる。副賞の親子ペア航空券は家族旅行に活用され、思い出がまたひとつ記憶に刻まれていく。入賞作品については、国内10都市を就航する全機内でレプリカを展示、機内誌でも紹介することで、訪問者たちにも島々の魅力を伝える。

近年は、親子での受賞を目にするようになった。小さな瞳が捉えた夏の景色は、時を経てまた次の小さな瞳に映ることだろう。

●評価ポイント

地域特性をいかし、離島の子どもたちに表現する楽しさを伝えている。

経営資源を活用した文化活動により、地域の魅力を内外に発信している。



▲石垣での表彰式。たくさんの子どもたちが入賞した。

◀オカヤドカリを見つけて輝く表情（2015年度4年生の最優秀作品）

●企業プロフィール [2016年3月現在]

本社所在地：沖縄県那覇市

設立年：1967年

資本金：45億3,720万円

従業員数：735名

主な事業：定期および不定期航空運送事業、航空機使用事業ならびに航空機整備事業

URL: <http://www.jal.co.jp/jta/>

■「メセナアワード2016」概要

公益社団法人企業メセナ協議会が1991年より実施する、企業・企業財団、またそれらの連合体の優れたメセナ活動を顕彰する事業。26回目を迎えた本年は、「This is MECENAT 2015」で認定された全国122件（69社・団体）の活動より、外部の専門家からなる選考会により検討を行い、受賞企業・活動を決定しました。

大賞（1件）	芸術・文化振興による社会創造に貢献した取り組みのうち、最も優れた活動
優秀賞（5件） *活動の特徴が反映された賞名	芸術・文化振興による社会創造に貢献した活動のうち、優れた活動
特別賞： 文化庁長官賞（1件）	国民の「文化力」・「創造力」向上や、日本文化の海外発信に貢献した活動

選考対象活動：

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2015年4月1日から2016年3月31日に実施したメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動で、「This is MECENAT 2015」認定活動を対象に選考。

選考ポイント：

【大賞・優秀賞】

●インパクト・貢献度

芸術・文化および社会に与えるインパクトや貢献度が高い

●関与度

活動を通じて社会・地域と深く関わっている

●独自性

経営資源をメセナ活動に活かし工夫をしている、または独自性がみられる

●継続性

活動に継続的に取り組んでいる、または活動の展開に意欲的である

【特別賞：文化庁長官賞】

●自治体、公益法人、NPO、学校や社会福祉法人等の外部の団体と連携し、国民（地域住民、子供たち等）の社会参加の機会をひらく取組や、「文化力」・「創造力」向上あるいは日本文化の海外発信に貢献する取組。

審査委員：

原島 博 | 東京大学名誉教授 ※委員長

伊東信宏 | 音楽学者、大阪大学大学院文学研究科教授

大竹文雄 | 大阪大学社会経済研究所教授

金沢百枝 | 美術史家、東海大学文学部ヨーロッパ文明学科教授

中村陽一 | 社会デザイン研究、立教大学21世紀社会デザイン研究科教授

松田法子 | 都市史・地域史研究、京都府立大学講師 ※以上五十音順、敬称略

尾崎元規 | 企業メセナ協議会理事長

※文化庁長官賞部門の選考には、文化庁担当者が加わりました

■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、3年ごとに若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。2015年～17年は美術家の悠（はるか）氏が制作を行います。



マエケナスの庭

2015年

350×350×19mm

アクリル、紙、絹糸、アクリル絵の具

撮影：佐藤 茂

【作家プロフィール】

悠（はるか）

2001年に独学で切り絵制作を開始。12年、スパイラルが主催するSICF13にて南條史生賞。以後、VIVIENNE TAMとの服飾商品コラボレーション、同ブランド青山店にて個展、ラディウム レントゲンヴェルケ（東京・日本橋）の取り扱いで国内外の展覧会に出展するなど、精力的に活動を展開している。

■公益社団法人企業メセナ協議会 <http://www.mecenat.or.jp/>

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長：高嶋達佳（[株]電通相談役）、理事長：尾崎元規（花王[株]顧問）。会員170社・団体／27名（2016年9月21日現在）。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報担当：坂本・中尾 / 認定・顕彰担当：内田・齊藤

TEL: 03-5439-4520 FAX: 03-5439-4521 E-mail: msakamoto@mecenat.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>